

河川事業の再評価項目調書

事業名(箇所名)	千代川 ^{せんたいがわ} 総合水系環境整備事業						
実施箇所	千代川直轄管理区間						
当該基準	再評価実施後一定期間(5年)が経過している事業						
事業諸元	【水環境】 ① 袋川 ^{ふくろがわ} 箇所水環境整備 ① -1: 袋川植生浄化、底泥除去(R4~R9) ① -2: 可動堰分水樋門整備(H22~H23)(完了)						
事業期間	平成22年度~令和9年度						
総事業費(億円)	4.6億円		残事業費	3.9億円			
目的・必要性	<p>千代川は、その源を鳥取県八頭郡智頭町^{やまぐんちづちよつおきのせん}の沖ノ山(標高1,318m)に発し、八東川、袋川等の支川を合わせて鳥取平野を北流し、日本海に注いでいる。</p> <p>水質については、流域で下水道整備が進んでおり、千代川では環境基準を満足しているが、鳥取市街地を流れる袋川下流域では水質が悪く、景観や河川の利用に対しても課題が発生している。</p> <p>以上の状況より、水環境整備を実施する必要がある。</p> <p>【水環境】<袋川箇所水環境整備></p> <p>袋川下流域は、国管理区間内で最も水質が悪く、DOが環境基準を満たしていない。川底に有機泥がたまり、水質悪化の要因となっており、夏季の流水が少なくなる時期には、浮遊物等が漂流し、悪臭が発生することがある。このため、袋川下流域において、植生浄化及び底泥除去による水質改善を行うものである。</p>						
便益の主な根拠	【水環境】袋川箇所水環境整備 CVM 全体事業：支払意思額 = 274円/世帯/月、受益世帯数 = 34,279世帯						
事業全体の投資効率性			B:総便益(億円)	C:総費用(億円)	B/C	B-C(億円)	EIRR(%)
	全体事業	総合水系環境整備事業	20.5	4.5	4.6	16.0	14.8
		(水環境)	20.5	4.5	4.6	16.0	14.8
	残事業	総合水系環境整備事業	16.9	3.4	4.9	13.5	19.9
(水環境)		16.9	3.4	4.9	13.5	19.9	
感度分析			残事業(B/C)		全体事業(B/C)		
	残事業費(+10%~-10%)		4.3~5.3		4.3~5.0		
	残工期(+10%~-10%)		4.8~5.0		4.5~4.7		
	便益(+10%~-10%)		4.4~5.4		4.1~5.0		
事業の効果等	【水環境】 袋川下流域の水質改善を実施し、水質や景観が改善することで、散策や散歩など、親水性の向上が見込まれる。また、藻類の異常増殖の減少、魚介類の生息環境の向上が見込まれる。						

社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> 千代川沿川の鳥取市・八頭町の人口・世帯数について、大きな変化はみられない。
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 袋川箇所水環境整備については、分流堰（可動堰）の樋門を整備し、袋川への浄化用水の管理をより容易にした。 袋川流域の狐川において、鳥取県・鳥取市が浄化用水として流量増加を予定している。
事業の進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> 水環境については、鳥取県及び鳥取市や連携を図りながら実施することとしており、地域住民の要望もあり、今後事業進捗する上で支障はない。
コスト縮減や代替案立案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 水環境については、植生浄化施設の除草作業や清掃などについて、鳥取県等関係機関、地域住民等と協力体制を確立することで、コスト縮減を図る。
対応方針（原案）	継続
対応方針理由	<ul style="list-style-type: none"> 以上より、事業の必要性、費用対効果、地域の協力体制を鑑み、<u>事業継続することは妥当</u>と考える。 今後の事業の実施にあたっては、引き続き地域住民等との協力体制を確立するとともに、コスト縮減に取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。
その他	—